

月がきれい

作詞・作曲・編曲 カンダマサヨシ 歌 初音ミク

雨上がりの帰路が弾く
街の光 煩わしくて
ビルの間隙 選び歩く
遠ざけるように

誰も知らない 気づきやしない
そんな日々の意味はなくて
でも不意打ち 君がかけた
声に驚いた

君の瞳に映る世界 どんな景色か
知りたくて踏み出した その時から

君なしじゃられない
そうさ寝ても覚めても消えてくれなくて
煌めきをくれたの
いつか諦めてしまっていた世界に
君なしじゃられない
当たり前のこんな日々が輝いて
未来を願うばかり
届かなくても いま――

木漏れ日の下 遠く近く
眺めていた 見つめていた
君が笑う その世界は
綺麗な夢だった

はじめてだった 1人きりの
時間が長く 苦しいなんて
知らなかったよ こんな風に
寂しくなれるんだね

知らないままの幸せもきっとあるだろう
それでもこの憂鬱を抱きしめたい

知らなかった自分が
君に会うたび溢れて止まらないの
恥ずかしいくらいに
痛む心の歪みでさえ愛おしい
知らなかった言葉が
君に会うたび溢れて止まらなくて
でも君を前にすると
息が止まるの――

言いたい事も言えない事も
いつの間にか増えてもう時々嫌になるけど
逃げたくはない逃たせるわけがない
私の日常に意味をくれた君がいるから

君の瞳に映る世界 どんな景色か
知りたくて変わると決めた あの夜から

いつか終わりがくる
この日々の先に憂いしかなくても
消しされない想い
この世界はこんなにも美しい――

君なしじゃられない
そうさ寝ても覚めても消えてくれなくて
煌めきをくれたの
いつか諦めてしまっていた世界に
君なしじゃられない
当たり前の日々がこんなに輝いて
未来を願うばかり
届かなくても――

明日を信じてるから